

# 与謝野町農業技術者会報告（7月）

日時：令和元年7月24日（水）

13：30～15：45

場所：加悦庁舎2階会議室

出席者：京都府丹後広域振興局 農林商工部 企画調整室 農業振興担当 1名  
丹後農業改良普及センター 産地づくり担当 1名  
京都農業協同組合 丹後広域営農センター 1名  
野田川支店生産課 1名  
与謝野町 農業委員会事務局 1名  
農林課 3名

## 1. 報告・協議事項等

### ○ 自然循環農業

#### ◆委託白大豆について

- ・7/1 播種後のほ場確認を実施。  
大部分の圃場は順調。麦後のほ場の発芽が悪い。
- ・町の補助金の財源（国の地方創生交付金1/2補助）が令和2年度で終了する予定のため、今後の取組みについて整理が必要。

#### ◆京の豆っこ肥料について

- ・想定保管場所の石川地区牧場跡の補修費用を9月議会に補正予算上程。

### ○ 経営所得安定対策について

- ・令和元年交付申請（7/24現在） 94件 （昨年度申請実績 90件）
- ・産地交付金の概要について、京都府及び近畿農政局と協議終了。  
別添資料あり（府・町設定分）
- ・転作現地確認中、確認ほ場は産地交付金の対象農地。

### ○へり防除・共同防除について

- ・へり防除 8/2 岩屋地区と温江地区の2地区が実施。  
共同防除 今年度は実施地区なし。
- ・広報について、7/30(火)新聞折り込み予定、音声告知と文字放送で事前広報を行う予定。  
養蜂関係者へ文書により周知。
- ・7/19 アレルギーを持つ方々の団体との意見交換会を実施（JA野田川生産課、農林課）
- ・今年のへり共同防除については、2台で2地区同時散布。20ha（岩屋7ha、温江13ha）を予定。（平成30年度：55ha）

### ○農業次世代人材投資事業（旧青年就農給付金事業）について【情報共有】

7月中旬の京都府主催の担当者会議において、国の追加要望がについて9月に情報が入る可能性を言及。現状は継続分だけ交付決定済み。当初予算余剰分については、国と都道府県で基準を設け、優先順位を付けて配分していくことを検討されている。

本事業の事務事業評価（副町長以下内部評価委員）において評価委員からは、本事業から漏れる新規就農者に対しては町として何らかの対応が必要との意見が出された。

## ○JA京都与謝野町「京の豆っこ米」生産部会視察研修【情報共有】

7/23 兵庫県美方郡香美町村岡区板仕野地区の現地棚田で説明を受ける。生産米の商品名は「とろかわの恋」。食味計値 85 以上、味度計、官能検査で一定の基準を超えたお米のみに与えられるブランド米で、令和元年度の生産者は 6 名、生産面積は 6.6 ヘクタール。標高が 450 m ほどあり、地下水を農業用水として利用されている。

## ○7/24 与謝野町担い手認定農業者会と町長との懇談会があり、認定農業者会から町長へ要望を行った。

### 主な要望事項

- ①豆っこ肥料の改良、保管場所の確保  
→ペレットの硬度を高めたいが、気温、季節により粉体の温度、湿度により、調整が難しい。改善方法についてメーカーと協議をする。
- ②京都府主食用米新品種の試験栽培を行いたい  
→新品種についての計画は令和元年度に 1 系統に絞り、令和 2 年度に試作（面積規模、種モミの数等は不明、奨励品種決定調査分しかなければ慣行施肥で試験栽培を予定）、奨励品種決定調査、品種登録、法令品種等の手続きを実施し、令和 3 年度に本格栽培を開始予定。  
今後も技術者会で情報収集を行う。
- ③災害復旧工事の早期完了と地元負担の軽減
- ④新規就農者への補助金の確保
- ⑤町独自の補助金を要望（国の戸別補償の復活）
- ⑥町の営農指導員の確保
- ⑦野田川の浚渫
- ⑧認定農業者会への活動補助金を要望  
→認定農業者会は地域農業の活性化に寄与しており、また産業振興会議委員にも選出されている。このような事も勘案し技術的な学習会や先進地視察研修を実施するためのマイクロバス借り上げ料程度の補助金と会に対する相応の位置付けを要望。

## 2. 関係機関からの報告事項

### 【振興局】

- ・8/21(水) 丹後農業研究所施設公開 新品種の圃場説明があるかも
- ・7/28(日) 第 10 回京丹後お茶まつり（丹後王国「食のみやこ」）
- ・7/8(月) よろず相談が開かれ、与謝野町から 2 組参加

### 【普及センター】

- ・8/1～8/31 プレミアム米コンテスト募集
- ・京都府農山漁村伝承技能者募集
- ・ファーマーズライス特栽米 8/2 集会及び確認責任者とは場まわり
- ・新規就農者情報 本年度から就農の 2 組とも頑張っていて営農されている。

### 【JA】

- ・生産拡大したケイトウの出荷が 7/29 から本格的に始まるが盆花の価格は低迷。理由は咲く時期が早かったことと、大産地から大量に入荷しているため。この先、空白ができて、その時期に与謝野町産の盆花がはまれば収益は上がる。
- ・8/3(土)、8/10(土)盆花フェア 亀岡市JAたわわ朝霧
- ・エコファーマーの継続、新規の方の追加による拡大を目指す。

#### 4. その他

○弓木地区から農事組合長の交代の連絡あり。

○祝の新品種について

グレードアップと粒厚の厚いものへ改良。

今年度10系統を2系統に絞り、令和3年度に品種決めて登録申請を目指す。

○消費税についての軽減税率の農業者向け説明会があれば情報提供願う。

次回の技術者会の開催について 8月26日(月) 13時30分～